記載例2…残りの税額を 七二、仙仏 山一 7 0日 八 本 仲 1 上 7 日 人

ご 注 意

3 2 1

受転「出一新た転「 給動市国月勤だ勤宛 が業県方らは給職し 空所民の四中与等の 欄が税未月段所に欄 で税・徴三の得よに あ額森収十一者りは つ通林税日特」異 た知環額ま別の動特 り書境はで徴欄後別、一税、の収のの徴 使納納一間継「勤収 用税税括に続個務税 不義管徴退の人先額 可務理収職場番で通 での文字を記述知書に記述知書に記述れていた。 では、ごがなしていた。 では、この文字を記述されていた。 では、この文字を記述されていた。 では、この文字を記述されていた。 使受承だ未載前特載 用け認く徴し勤別さ し取申よ収、務徴れ てり請う税一先収た いを一お額月でを宛 た電書願が一は行名 場子」いあ日記う番 合デをしる現載場号 は一提ま場在せ合を は、ターでは、 一では、 のです。には、 正でる事は、 に所新し く望よ情、地勤前て 通しうに一へ務勤く でい象り徴税で先さ きる者普収地本でいる場に通す)人最 い合ご徴るのか上 場、指収こ市ら段 合受導にと町番の が給く切が村号事 あ者だり義長の項 り番さ替務に提を ま号いえづ送供記 すの。るけ付を載 。記 場らし受し、 載 合れてけ から はてく記新、いだ載勤 須 納まさし務 税すってた な だ送 理 ま さ付 す。 を い願 定 °V ま す

ŧ	もりの動	は観る	了一有	古信	製収し	/ \	9月	分で約	小人`	9 6)	台															
	給 特	• 支 別	払徴	報	告収	こ係	る紿	与所得 :	者異!	動届	出書	ŧ							年 度	Ť.	:	1 . 現年度		2.新年		3. 両:	年度
							=r	≠ lile		2-3450								,			特別徴 指 定	収義務者 番 号		8	87654	4321	
					絵		所	在 地	004	具××	市△△	\1-2-	-3									番号			123	34	
	笛吹雨	市長 展	T.		特別		フ	リガナ													担連	所 属		人事	課人	事労務係	 ξ
	年	月	日提	出	給与支払者特別徴収		氏名	又は名称				柞	朱式	会社	: C)×南	寄事				当絡	氏名		!	特徴	花子	
						, -		人番号 法人番号	1 1	1 1	. 1	1 1	1	1	1 1	1	1	←個人番号の記 左端を空欄と	載に当たっ し右詰めで	ては、 記載	者先	電話	000-	-000-000	0 内組	線()
	フリガナ		スズ	` +	イチロウ	7																					
	氏 名		金	令木	一郎			(ア)			(イ)				ウ)		星	異 動 三月 日		異	動の	事由		異	動後	の未復	数 収
ì	生年月日	昭和	50年		1月		1日	特別徴収 (年税額		往	收収済額	額) (7	ト徴↓ ┏) -	収税額 - (ィ	頁 ()	年	月 月			-94	, ,		税	額の	徴収力	方法
	個人番号	2 2	2 2 2	2 2	2 2 2	2 2	2 2																				
[受給者番号			123	456					6	月分	から		9	月分か	46		R△ 年	1	1 . 2 .	転		職勤	2	1.	特別徴	収継続
	1月1日 現在の住所	:	○○県	××	市△△3-	-2-1				8	月分	まで		5	月分ま	で	<u>_</u>	8 月	右から 番号を 記入	→ 3. 2 4. 5. 6.	休 職 死 支払 付	レ額・不足		右から 番号を 記入	2.	一 括	徴収
	異動後の 住 所							140, 000	円	35,	, 600	円	10)4, 4	00	円		31		7.		・解の	散 他)		3.	普 通 (本人	徴 収納付)
	特別徴収	又継続	の場合	-																7							
í.	特別徴収	義務者 番 号	 					(新規)	法人	、番	号									新し	い勤務先		<u>月割額</u> 0日納入		分) から	<u>円</u> を
1	1		1 '									l	所	· [I	1~~			.,,,,,	,)	

L		符別倒収継続	9場台		W 3 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1) I deleter III i
		特別徴収義務者	(新規) 法人番号		新しい勤務先で	は、月割額 円を
		指 定 番 号	一		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
親			〒 所		月文(翌	月10日納入期限分)から
ſ	別	所 在 地	担具属		All the state of t	
V	似	// 12 - 6			徴収し、納入り	同じ月を記入
茧	」 義	-11.18.1	者 氏			130730407
矜	務	フリガナ	連 名		受給者番号	
先	者)		x枚			
ľ	\sim	氏名又は名称	1 年 電		納入書の要否	1. 必要 2. 不要
I			話	内線 ()	(新規の場合のみ記載)	記入
	_					

2.	. 一指	舌徴収の場合				左記の一括徴収した税額は、
理	1	1. 異動が令和	年12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	
由	右から					9 / 月分(翌月10日納入期限分)で
Щ	番号を 記入	2. 異動か令和	年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	9 月 20 日	104, 400 円	納入します。

	3.晋囲倒収の場合
--	-----------

番号を

記入

1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 理 2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額 右から 由

3. 死亡による退職であるため

一括で徴収した税額を納入する月を書きます。

※1月以降の退職の場合は、原則一括徴収となります。

※1月以前であっても、外国人の従業員が出国により特別徴収できなくなる場合 は、可能な限り一括徴収にご協力をお願いします。

〒406-0031 笛吹市石和町市部809番地1 笛吹市役所税務課